

地方創生拠点整備交付金・地方創生推進交付金事業 効果検証

○地方創生拠点整備交付金事業

No.	事業の名称	事業内容	事業費(円)	重要業績評価指標(KPI)				町の効果検証	なかい戦略みらい会議委員 (外部有識者)の効果検証	議会の効果検証
				指標	目標値 (平成29年度)	実績値 (平成29年度)	達成・未達成			
1	里都まちガーデン賑わいと交流拠点整備事業	町が町民や「里都まちCAFE」の管理運営者と協働して、交流人口増加や地域経済活性化に取り組む拠点である「里都まちCAFE」の魅力を向上させるため、拠点施設と周辺部を「里都まちGARDEN」として一体的に整備する。	37,929,063	① 「里都まちCAFE」 「里都まちKITCHEN」 飲食料年間販売額	2,000千円	7,000千円	達成	大きな効果が出ていることから、両施設を活用した取組の幅を一層広げ、交流人口の増加と販売額のさらなる増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 年間販売額の実績値が目標値を上回することは喜ばしいこと。 この事業をきっかけに新しい動きが出てきていることはよい。 利用者の評判を把握して改善していくべき。 他の自治体の資源や魅力にも着目し、差別化を図るのか、協調して取り組んでいくのかなどの整理が必要。 店舗の収支や記録をしっかりとまとめて、課題等を分析していく仕組みが重要。 アダプトプログラムの活動を参考にしながら、町民参加、ボランティアの仕掛けを検討した方がよい。 周りの施設なども一体的にPRをして、公園の魅力を高め、相乗効果を狙っていくべき。 	大井町のビオトピアがオープンとなり、町をPRするには効果的な施設であるが、ビオトピアの中井町のPRが不十分ではないか。 ビオトピアで中井町の特産品が販売されているということをもっと町から発信するべきではないか。
			② 里都まちGARDENにおけるイベント来場者数(里都まちなかいチャレンジ教室延べ参加者数)	200人	0人	未達成	里都まちGARDENの整備が年度末になったことから、平成29年度内にイベントを実施することができず、目標値を達成することはできなかったが、次年度から様々なイベントを打ち出し、来場者数の増加を図る。			
			③ 里都まちイベント実施団体数	5団体	4団体	未達成	団体に限らず、個人によるイベントの実施や自主活動が活発化しており、このような方の発掘と後押しをしていき、町を盛り上げるために活躍する方を増やしていく。			

○地方創生推進交付金事業

No.	事業の名称	事業内容	事業費(円)	重要業績評価指標(KPI)				町の効果検証	なかい戦略みらい会議委員 (外部有識者)の効果検証	議会の効果検証
				指標	目標値 (平成29年度)	実績値 (平成29年度)	達成・未達成			
1	スポーツとブランドが融合した「里都(さと)まちなかい」魅力発信プロジェクト	中井中央公園や里山等の地域資源を活用した里都まちスポーツと、本町の多種多様な農産物を活用した里都まちブランドの融合により、町の魅力の発信に磨きをかけ、里都まち交流拠点を中心に憩いと交流の場を提供する。人の流れを呼び込むことにより、地域の活性化を図り、まちの賑わいを創出する。	14,554,437	① なかい里都まちCAFE事業収入(アンテナショップ物販・飲食売上等)	2,000千円	7,000千円	達成	<p>大きな効果が出ていることから、さらに施設を活用した取組の幅を一層広げ、交流人口の増加と販売額のさらなる増加を目指す。</p> <p>実績値が目標値を大幅に下回っていることから、事業の見直しから、事業の改善点を検討し、バージョンアップする事業、このまま継続する事業、縮小や廃止を含めた抜本的な見直しが必要な事業を選別していく。</p> <p>目標値には届かなかったものの、指標は増加した。新たなスポーツイベントやブランド品の創出、それらを活かしたPRによる効果と考えられる。さらなる魅力アップと中井町に来たいと思わせる効果的な周知を図っていく。</p>	<p>・町外から人を呼び込む上では、事前に町のハード面での整備をしておくべき。 ・交通事故が起きたら事業が廃止になってしまうので、ノルディック・ウォークイベントを実施する際には、コース設定や安全管理に注意を払っていただきたい。 ・お金をかければ交流人口が増える取組みではなく、お金をかけずに人を呼び込む手法を考えていくべき。 ・実施事業が社会的に及ぼす影響、効果に着目する広い視野も必要。 ・町内の施設で実施できるスポーツ種目の研究、実施者のニーズに合った活動場所の提供を意識するとよい。 ・スポーツの枠にとらわれず、気軽にできる遊びから、スポーツ振興に取り組むのもよい。「楽しい」を前面に出していくべき。 ・ロジックモデルを明確化していくべき。</p>	<p>大井町のビオトピアがオープンとなり、町をPRするには効果的な施設であるが、ビオトピアでの中井町のPRが不十分ではないか。 ビオトピアで中井町の特産品が販売されているということをもっと町から発信するべきではないか。</p>
② 社会増減と自然増減による人口増減数	△21人	△71人	未達成							
③ 東名高速道路秦野中井IC1日平均利用台数	+500台	+205台	未達成							

○地方創生推進交付金事業

No.	事業の名称	事業内容	事業費(円)	重要業績評価指標(KPI)				町の効果検証	なかい戦略みらい会議委員 (外部有識者)の効果検証	議会の効果検証	
				指標	目標値 (平成29年度)	実績値 (平成29年度)	達成・未達成				
2	県西地域活性化プロジェクト推進事業	「未病を改善する」をキーワードに、地域資源の魅力を高めアピールしていくことで、交流人口の増加と地域の活性化を図るために、未病の「見える化」を図る拠点の活用や、未病改善プログラムの普及等により、ライフスタイルを見直す動機付けを行う。	996,895	① 県西地域2市8町における社会増減	+400人	+66人	未達成	中井町単独では△8人であった。未病センター・なかい健康づくりステーションや身体活動量・質評価システムを活用して、「未病を改善する」をキーワードにした取組のさらなる推進、町内外問わず幅広い周知が必要になる。	・PR面などで町内企業ともしっかり連携が図れるとよい。 ・ロジックモデルを明確化していくべき。	大井町のビオトピアがオープンとなり、町をPRするには効果的な施設であるが、ビオトピアでの中井町のPRが不十分ではないか。 ビオトピアで中井町の特産品が販売されているということをもっと町から発信するべきではないか。	
				② 県西地域2市8町における入込観光客数	+50万人	— (集計中)	—				県西地域の地域資源や発信力を活かし、未病をテーマにした魅力をPRしていくことで、中井町に興味を抱かせ、加えて交流拠点、スポーツ、ブランドといった魅力を伝達していくことで、観光客数増加に結び付けていく。
				③ 「県西未病観光コンシェルジュ」講座修了者数	+80人	+96人	達成				県西地域の魅力を高めることで、地域の魅力が実感でき、幅広く魅力を伝えていきたいという気持ちが芽生え、県西未病観光コンシェルジュ講座の受講に繋がるものと考えられることから、未病に関連する事業の普及・推進を一層図っていく。